

【国語】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)	
全体		15	72	70	69.8	
学習指導要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	64.8	66.3	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	63.3	63.7	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	77.8	71.7	74.7
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	86.1	82.5	82.2
		B 書くこと	2	65.4	64.6	63.2
		C 読むこと	4	66.5	64.2	63.7

分析 全体としては、県や全国平均を上回っている。特に思考・判断・表現の分野では平均より2～4ポイント上回っている。「話すこと」「聞くこと」に関しては、目的や場面に応じて自分の考えをまとめることができている。また「書くこと」においても自分の考えが伝わる文章になるように書くことができている。その反面、「知識・技能」の分野では、漢字や語句の理解が十分ではなく、課題が残る。日常「なじみのない」言葉に対する理解が不足しているため、新聞や読書によって言葉の幅広い知識を身につけることが必要と思われる。

【数学】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		15	52	52	51.0
学習指導要領の領 域	A 数と式	5	65.0	65.2	63.0
	B 図形	3	37.8	36.1	33.2
	C 関数	4	51.2	51.7	51.2
	D データの活用	3	47.4	47.4	48.5

分析 『数と式』『図形』領域では、全国平均正答率を上回っている。各領域で『知識・技能』は6割近い定着がみられるが、『思考・判断・表現』は不足しているため、今後は『知識・技能』を活用する力を育成し、課題を解決するために必要な力を伸ばしていく指導が必要だと考える。『データの活用』領域は全国平均正答率を若干下回った。特に「データの分布の傾向を比較して捉え説明すること」は無答率が高く、理由を説明することを苦手としている傾向がみられるため、表現力を伸ばしていくことも今後の課題である。

【英語】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		17	53	50	45.6
学習指導要領の領 域	(1) 聞くこと	6	66.1	62.5	58.4
	(2) 読むこと	6	57.3	55.7	51.2
	(3) 話すこと [やり取り]	4	16.1		14.5
	(4) 話すこと [発表]	1	5.3		4.2
	(5) 書くこと	5	31.5	29.5	23.4

分析 日常的な話題や社会的な話題について、短い情報を正確に聞き取ったり、事実と考えを区別して要点を読み取ったりする力は伸びているが、それに対しての自分自身の意見や考えを理由とともに表現することに課題が残る。身近な話題に対して自分の考えをもち、それを整理してまとまりのある英文を書く活動を取り入れ、ひき続き「書く」「話す」力を伸ばすための言語活動に力を入れる。